「学生版ティーチング・ポートフォリオ」の作成と授業改善

保健体育・日野克博

１．授業の概要

「総合型地域スポーツクラブ指導実習Ⅲ」は，健康スポーツ科学課程の３年生を対象に，１年間の教室での指導アシスタント活動とそれを省察する授業で構成されている．本年度は，指導実習Ⅰ・Ⅱ及び本年度の活動を踏まえて，近年注目されているティーチング・ポートフォリオ（「自らの教育活動について振り返り，自らの言葉で記し，多様なエビデンスによってこれらの記述を裏づけた記録（教育業績）」(栗田，2009)）を参考に，「学生版ティーチング・ポートフォリオ」(以下，TP）の作成を授業内容として位置づけた．TP 作成を通じて，学生自身が，自己の指導観や教育観を確立し，今後の自己教育課題を明確化させることが，本授業のねらいである．

２．TP の作成にあたって

まず，TP 作成のねらいを学生に理解させた．

TP 作成のねらい

①「教える」ことについて，自己省察する機会をつくる（自己を振り返る）

②「教える」ことの力量形成を形に示す

③「教える」ことのアピール資料，共有資料として活用する

次に，TP 作成の条件として，以下のことを提示した．

・本文は A4 サイズで８～10 枚　+添付資料

・「読み手」にとってわかりやすく

・ エビデンスによる裏づけをする

そして，TP の構成は，基本的な内容は示し，詳細は学生自身が柔軟に作成してよいこととした．なお，私自身が作成した TP を具体的なモデルとして提示した．

TP の主な内容

○「指導の責任」「指導の理念」

→ 総合型の教室活動のなかで，自分はどんな責任を担っているか

→ 総合型の教室での指導にあたって，自分はどんな指導観・指導方針（ポリシー）を持っているか

○「指導の理念を実行するための方法」

→ 「指導の理念」を実行するために，具体的にどんなことを行っているか

→ 「指導の理念」を具現化するために，工夫している点や意識している点

○「指導を改善するための方法」「指導の成果」

→ 指導改善のために取り組んでいること

→ 指導に関する評価（アンケートの結果や他者評価）

○「今後の目標（短期的目標，長期的目標）」

→ 自らの指導理念，指導方針に基づいた目標を，長期的視点と短期的視点から構築する

→ 総合型に限定しないで，これからの大学生活，社会生活における目標設定を行う

３．授業の展開

本授業は，総合型地域スポーツクラブでの各教室での指導活動，他の教室の観察，そして，TP 作成のための省察授業を，月１～２回実施した．

TP 作成については，スタートアップシートの作成，中間報告，最終報告等を授業の中に位置づけた．さらに，ワークシートを使って相互に指導観や指導理念を洗い出したり，TP の相互評価を通じて他者の考え方から自己を振り返る場を提供するなど，単調な作成作業にならないように工夫した．また，教員はメンターとして，作成段階において適宜アドバイスを加えていった．

最終授業では，完成した TP を相互に披露し，今後の自己教育課題を確認した．

４．学生の授業評価

本授業では，①DP に基づくアンケート調査，②学生の自由記述式アンケート調査，を通じて，学習成果と課題について検討した.

１）DP に基づくアンケート調査

表１は，DP の各項目について，本年度の成長度と達成度を尋ねた結果を示している（５点満点）. この結果から，今年度の取り組みは，概ね肯定的な評価が得られており，とくに DP５の成長度が高くなっていた. また，達成度については，DP4 の評価が高くなっていた.

これは，総合型の活動によって多世代と交流する場面に数多く参画できたこと，さらに，TP 作成を通じて理論と実践を連関させる取り組みが充実していたことが考えられる.

表１．DP に対応した学生の評価

（本年度の成長度と到達度）

ｽﾎﾟｰﾂ健康科学課程の DP	成長度	到達度
DP1.充実した生涯学習社会を築くため，スポーツや健康に関する確かな専門的知識を修得している。	3.64 (0.63)	3.21 (0.58)
DP2.現代社会で生じている健康やスポーツに関するさまざまな課題について論じ，適切な対応を考えることができる。	3.50 (0.85)	3.36 (0.74)
DP3.多世代に対する運動指導やそれに関連した活動に取り組むために必要とされる高い実践的指導力を身につけている。	3.79 (0.89)	3.43 (0.65)
DP4.スポーツや健康に関する課題に関心を持ち，主体的に課題解決に向かって，理論と指導を連関させた取り組みができる。	3.79 (0.70)	3.57 (0.51)
DP5.多世代にわたる対人関係能力およびコミュニケーション能力を獲得し，豊かな地域社会づくりに貢献するための適切な行動ができる。	4.07 (0.62)	3.50 (0.85)

＊5点満点の平均（標準偏差）

２）学生の自由記述式アンケート

この授業で取り組んだ TP 作成について，受講学生に自由に意見を求めた．主な意見は表２のとおりである．学生からは，TP 作成は大変であったという意見もあったが，作成した結果からは，これまでの指導を振り返り，自らの指導理念を整理する機会が持てていた．また，人に伝えるための工夫やエビデンスの収集の仕方等についても今後につながる学びの機会になっていたと思われる．また，TP 作成を早い段階で行い，継続して作成していくことにより，より確かな力を育むことができることが示唆された.

表２．TP 作成後の学生のコメント

- ・自己の指導理念・到達目標が明確になった
- ・自分自身の活動を可視化することによって，改善点が見えてきた
- ・自己省察するよい機会になった．教室での自分の役割や責任を再確認することができた
- ・自身の指導を具体的に示す機会がなかったので，今回の TP 作成は非常によかった
- ・TP を作成することによって，自分がどんな指導者像を持っているか確認することができた
- ・１年を通して指導理念が変わってきて，しっかりと持てるようになった
- ・１年間の活動を主観的・客観的に省察できたのがよかった
- ・TP 作成は一言でいうと大変だった．しかし，自分の指導観や改善点を考えることができるよい機会になった
- ・作成は大変だったが，他の人の TP をみることで，新たな考えを知ることができてよかった
- ・完成したものをみると，非常に充実感を感じる
- ・理念に対する指導の工夫や指導方針を書くことで，そのことを自分自身で認識できた
- ・もっと早い段階に作成していれば，より指導に活かせていた
- ・もっとエビデンスを充実させていけば，より内容の濃い TP にできると思う
- ・定期的に新しく作成しながら，前のものと比較すると成長した点がわかりやすいと思う

５．本授業の成果と今後の課題

本授業では，総合型地域スポーツクラブでの指導活動と連関し，学生自身が TP の作成を試みた．学生のコメントからは，自己の指導理念を整理し，これまでの活動を振りかえる機会として，高い評価を得た．TP 作成は，今後，効果的な教育方法の一つとして，活用できると思われる.

他方で，教員が十分なメンターとしての機能を果たすことができなかった．受講人数の条件もあるが，今後，より効果的・効率的な指導のあり方を模索していきたい.